

令和5年度第1回和泉市こども・子育て会議 当日の質問と回答について

資料3

委員質問	当初回答	最終回答	
<p>案件 ①令和4年度第2期和泉市こども・子育て応援プランの進捗状況について</p>			
<p>1</p>	<p>(佐藤委員) 現状維持多いが、できるだけ前に進めてほしい。49ページ、事業No.198「子ども110番事業」について、子ども110番の旗がボロボロになっているところがある。旗があることで犯罪の抑止になると思うので、渡しきりではなく、きれいな旗に交換し各家庭にも配ってほしい。目立つようにしてほしい。</p>	<p>(子育て支援室) 担当課へ伝える。</p>	<p>(生涯学習推進室) 指摘のあった地域の旗については、取りまとめ担当の小学校へ交換するよう伝えます。年に全体の20%を交換するようにしています。</p>
<p>2</p>	<p>(内藤委員) 56ページ「⑤一時預かり事業(1.幼稚園在園児を対象としたもの)の実際の利用量は、新2号認定を含むということか。</p>	<p>(こども未来室) 含まれていると思われる。</p>	<p>(変更なし)</p>
<p>3</p>	<p>(弓削委員) ファミリーサポートセンター事業で、令和4年度プランにおける確保方策と実際の確保量が4,440件あがっている。実際活動しているのが375人、活動実績が1,044件からすると大きいと思うが。</p>	<p>(子育て支援室) 確認させていただく。</p>	<p>(子育て支援室) 375人前後の提供会員の皆さんが、月1回程度活動されるとした場合、4,500件となることから、目標と設定した4,440件のプランにおける確保方策は充足できているという意味です。</p>

4	<p>(石田会長)</p> <p>53ページ事業No.214で、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーがあがっているが、スクールカウンセラーは派遣か、常駐か、その派遣回数はどれくらい増やそうとしているのか。拡充の方向なのか。</p>	<p>(子育て支援室)</p> <p>各中学校区に配置されているが、常駐ではなく、派遣回数は担当課に確認してご報告する。</p> <p>担当課からはそう聞いている。</p>	<p>(学校園管理室)</p> <p>スクールカウンセラーは、各中学校区に一人担当を配置しています。令和4年度実績で、中学校は一校当たり35回派遣、小学校は、青葉はつが野小といぶき野小が20回派遣、その他の小学校が12回派遣となっています。</p> <p>拡充の方向で、令和5年度は20回派遣の小学校をあと2校増やす予定です。</p>
5	<p>(石田会長)</p> <p>55ページ地域子育て支援拠点事業の令和4年度実際の利用量2,799人は、コロナ禍で制限があったと思って間違いないか。今年度は制限が解けているのか。</p>	<p>(子育て支援室)</p> <p>コロナの影響はあったと認識している。教室や会合は、制限された。現在は5類になり、徐々に活動を戻しているが、お母さん方の気持ちのお問題もあることから、様子を見ながら元の状態に戻そうとしている状況。</p>	<p>(変更なし)</p>
<p>案件②こども計画の策定について(報告)</p>			
6	<p>(橋本委員)</p> <p>こども・子育て会議の後継の審議会名を「こども会議(仮)」とすると、実際、他に子どもたちで実施するこども会議という取り組みがあることから、この名称は若干しっくりこない。別の名称が良いのではないか。</p> <p>また、会議に参画する和泉市行政については、本日の会議でも質問に対し、「担当課に確認する」との回答があったが、他の部署ももっと出席し、「こどもまんなか」に対する本気度を示したらよいのでは。</p>	<p>(子育て支援室)</p> <p>名称についてはこれとは別の形で検討している。計画に参画する部署や会議に参加する部署などについては、今とは別の形で庁内連携をすすめられるよう会議の形なども検討していく。</p>	<p>(変更なし)</p>

7	<p>(若林委員)</p> <p>年齢の切れ目を作らず支援していくのはいいと思う。子ども食堂については、拡充するのか、別の施策を実施するのか。</p>	<p>(子育て支援室)</p> <p>子ども食堂については、現在でも高齢者なども顔出ししている例もあり、若者も含めた多様な人々が集まれる地域の居場所、サードプレイス的な形(地域食堂)も検討したい。</p>	(変更なし)
8	<p>(弓削委員)</p> <p>年齢を制限せず、30歳代も対象範囲に入れるということであるが、引きこもりなどは40歳代、50歳代もあることを考えると、年齢の切れ目なくといっても結局上限を定めることになると思うが。</p>	<p>(子育て支援室)</p> <p>制度上の線引きは必要かと思うが、現在は18歳で児童と大人の切れ目があり、支援が繋がらず、重症化することも懸念される。まず、その切れ目を補う制度や体制を作りたい。</p>	(変更なし)
9	<p>(大場委員)</p> <p>地域で子育てというが、PTAや老人クラブなど地域の担い手が減っている。そこをなんとかしないと、絵に描いた餅になると思う。また、子育てをしている親が幼稚園や小学校とともに子供のためにこうしていきたいという意識を持たないといけないと思う。</p>	<p>(石田会長)</p> <p>今のような意見も踏まえ、新しい「こども会議(仮)」で意見を出していただいて、市が作る、市に任せるというのではなく、代表として、我々の意見を反映させていき、この計画をより良いものにしていきたい。こども・子育て会議の枠組みが多少変更されるけれども、引き続き、皆さんも一緒に協力していただきたいというのが本日の趣旨。</p>	(変更なし)
10		<p>(吉田副市長)</p> <p>計画のありかたについては数値目標を設定し、進捗を明確に評価できるように変えていきたい。</p>	(変更なし)